

収 支 計 算 書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産等運用収入	18,599,000	24,800,348	6,201,348	
(1)基本財産運用収入	7,179,000	15,943,774	8,764,774	
(2)特定資産運用収入	11,420,000	8,856,574	2,563,426	
事業収入	20,438,717,000	19,584,045,556	854,671,444	
(1)先行技術調査事業収入	16,054,193,000	15,159,795,605	894,397,395	
(2)一元付与事業収入	3,733,496,000	3,739,170,771	5,674,771	
(3)公開後Fターム付与事業収入	625,191,000	656,765,606	31,574,606	
(4)DNA事業収入	4,415,000	4,201,560	213,440	
(5)Fタームリスト作成事業収入	11,958,000	14,019,334	2,061,334	
(6)公開技報分類付与事業収入	9,464,000	10,092,680	628,680	
消費税受入収入	1,021,936,000	979,195,926	42,740,074	
雑収入	0	1,254,467	1,254,467	
事業活動収入計	21,479,252,000	20,589,296,297	889,955,703	
2. 事業活動支出				
事業費支出				
事業費支出	18,554,351,000	17,978,545,047	575,805,953	
(1)先行技術調査事業費支出	14,529,656,000	14,062,537,474	467,118,526	
(2)一元付与事業費支出	3,430,501,000	3,314,719,898	115,781,102	
(3)公開後Fターム付与事業費支出	571,751,000	579,646,433	7,895,433	
(4)DNA事業費支出	3,666,000	3,724,621	58,621	
(5)Fタームリスト作成事業費支出	10,825,000	10,509,717	315,283	
(6)公開技報分類付与事業費支出	7,952,000	7,406,904	545,096	
消費税支払支出	462,260,000	330,413,326	131,846,674	
消費税納付支出	559,676,000	648,782,600	89,106,600	
事業費支出計	19,576,287,000	18,957,740,973	618,546,027	
管理費支出				
(1)給料手当	357,961,000	340,143,505	17,817,495	
(2)福利厚生費	219,930,000	191,734,606	28,195,394	
(3)一般事務費	780,444,000	206,750,615	573,693,385	
(4)借室料	58,754,000	56,980,835	1,773,165	
(5)租税公課	56,770,000	44,402,700	12,367,300	
(6)借入金利息	15,000,000	8,109,646	6,890,354	
(7)その他(引越費用)	0	235,475,102	235,475,102	
管理費支出計	1,488,859,000	1,083,597,009	405,261,991	
法人税、住民税、事業税	170,000	199,013,600	198,843,600	
事業活動支出計	21,065,316,000	20,240,351,582	824,964,418	
事業活動収支差額	413,936,000	348,944,715	64,991,285	

収 支 計 算 書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
退職給付引当資産取崩収入	43,964,000	76,646,500	32,682,500	
入居保証金引当資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	43,964,000	76,646,500	32,682,500	
2. 投資活動支出				
保証金支出	0	96,648,960	96,648,960	
設備投資支出	0	13,116,500	13,116,500	
退職給付引当資産取得支出	83,305,000	71,347,900	11,957,100	
入居保証金引当資産等取得支出	89,477,000	96,125,873	6,648,873	
投資活動支出計	172,782,000	277,239,233	104,457,233	
投資活動収支差額	128,818,000	200,592,733	71,774,733	
財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
借入金収入	3,200,000,000	1,250,000,000	1,950,000,000	
財務活動収入計	3,200,000,000	1,250,000,000	1,950,000,000	
2. 財務活動支出				
借入金返済支出	3,185,118,000	1,500,000,000	1,685,118,000	
財務活動支出計	3,185,118,000	1,500,000,000	1,685,118,000	
財務活動収支差額	14,882,000	250,000,000	264,882,000	
予備費支出	300,000,000	0	300,000,000	
当期収支差額	0	101,648,018	101,648,018	
前期繰越収支差額	403,485,000	435,247,425	31,762,425	
次期繰越収支差額	403,485,000	333,599,407	69,885,593	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、未収収益、前払費用、未払金、未払費用、未払法人税等、未払消費税等、預り金及び賞与引当金を含めている。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	154,771,026	469,328,032
未収金	1,391,994,985	1,370,717,520
未収収益	3,630,511	3,487,998
前払費用	164,238,450	166,434,502
合計	1,714,634,972	2,009,968,052
未払金	573,693,478	707,609,986
未払費用	0	81,941,400
未払法人税等	101,978,400	199,013,600
未払消費税等	114,601,000	129,115,600
預り金	131,596,552	153,073,233
賞与引当金	357,518,117	405,614,826
合計	1,279,387,547	1,676,368,645
次期繰越収支差額	435,247,425	333,599,407

貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	469,328,032	154,771,026	314,557,006
未収金	1,370,717,520	1,391,994,985	21,277,465
未収収益	3,487,998	3,630,511	142,513
前払費用	166,434,502	164,238,450	2,196,052
仕掛品	518,482,816	456,234,538	62,248,278
貯蔵品	977,421	935,698	41,723
短期繰延税金資産	164,025,679	138,970,362	25,055,317
流動資産合計	2,693,453,968	2,310,775,570	382,678,398
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当定期預金	1,926,200	1,903,700	22,500
基本財産引当有価証券	1,404,073,800	1,404,096,300	22,500
基本財産合計	1,406,000,000	1,406,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当定期預金	290,029,700	294,834,300	4,804,600
退職給付引当有価証券	199,506,000	200,000,000	494,000
入居保証金引当有価証券	528,893,339	432,767,466	96,125,873
減価償却引当定期預金	5,692,600	5,692,600	0
減価償却引当有価証券	370,462,000	370,462,000	0
特定資産合計	1,394,583,639	1,303,756,366	90,827,273
(3) その他固定資産			
建物附属設備	647,537,106	714,903,879	67,366,773
建設仮勘定	11,407,500	0	11,407,500
什器備品	20,553,910	26,299,527	5,745,617
入居保証金	618,893,339	522,244,379	96,648,960
消費組合加入保証金	500,000	500,000	0
郵便後納保証金	1,000,000	1,000,000	0
その他保証金	40,000	40,000	0
リース資産	1,281,113,819	1,310,636,729	29,522,910
長期繰延税金資産	155,186,247	154,372,543	813,704
システム開発費	19,194,267	31,376,667	12,182,400
電子計算機導入経費	1,447,085	4,088,667	2,641,582
その他固定資産合計	2,756,873,273	2,765,462,391	8,589,118
固定資産合計	5,557,456,912	5,475,218,757	82,238,155
資産合計	8,250,910,880	7,785,994,327	464,916,553

貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	0	250,000,000	250,000,000
未払金	707,609,986	573,693,478	133,916,508
未払費用	81,941,400	0	81,941,400
未払法人税等	199,013,600	101,978,400	97,035,200
未払消費税等	129,115,600	114,601,000	14,514,600
預り金	153,073,233	131,596,552	21,476,681
賞与引当金	405,614,826	357,518,117	48,096,709
短期リース債務	503,031,537	483,011,375	20,020,162
流動負債合計	2,179,400,182	2,012,398,922	167,001,260
2. 固定負債			
退職給付引当金	489,535,700	494,834,300	5,298,600
長期リース債務	794,716,876	840,387,655	45,670,779
固定負債合計	1,284,252,576	1,335,221,955	50,969,379
負債合計	3,463,652,758	3,347,620,877	116,031,881
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	1,286,000,000	731,000,000	555,000,000
民間補助金	0	555,000,000	555,000,000
指定正味財産合計	1,286,000,000	1,286,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(1,286,000,000)	(1,286,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	3,501,258,122	3,152,373,450	348,884,672
(うち基本財産への充当額)	(120,000,000)	(120,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(905,047,939)	(808,922,066)	(96,125,873)
正味財産合計	4,787,258,122	4,438,373,450	348,884,672
負債及び正味財産合計	8,250,910,880	7,785,994,327	464,916,553

正味財産増減計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	15,943,774	7,260,367	8,683,407
基本財産受取利息	15,943,774	7,260,367	8,683,407
特定資産運用益	8,856,574	12,675,152	3,818,578
特定資産受取利息	8,856,574	12,675,152	3,818,578
事業収益	19,584,045,556	19,053,019,369	531,026,187
先行技術調査事業収益	15,159,795,605	14,502,974,769	656,820,836
一元付与事業収益	3,739,170,771	3,893,975,395	154,804,624
公開後Fターム付与事業収益	656,765,606	635,749,684	21,015,922
DNA事業収益	4,201,560	5,029,219	827,659
Fタームリスト作成事業収益	14,019,334	6,771,350	7,247,984
公開技報分類付与事業収益	10,092,680	8,518,952	1,573,728
雑収益	1,254,467	1,404,329	149,862
受取利息	1,178,927	1,380,563	201,636
雑収益	75,540	23,766	51,774
経常収益計	19,610,100,371	19,074,359,217	535,741,154
(2) 経常費用			
事業費	17,954,502,918	17,512,752,265	441,750,653
先行技術調査事業費	14,078,770,887	13,120,259,453	958,511,434
一元付与事業費	3,274,861,343	3,753,914,737	479,053,394
公開後Fターム付与事業費	579,305,042	625,168,298	45,863,256
DNA事業費	3,679,833	4,331,349	651,516
Fタームリスト作成事業費	10,502,620	4,005,669	6,496,951
公開技報分類付与事業費	7,383,193	5,072,759	2,310,434
管理費	1,133,568,202	1,094,144,049	39,424,153
給料手当	340,143,505	333,150,716	6,992,789
福利厚生費	191,734,356	216,310,388	24,576,032
一般事務費	235,709,374	246,581,468	10,872,094
借室料	56,980,835	49,184,949	7,795,886
租税公課	44,402,700	53,655,420	9,252,720
支払利息	29,122,330	38,633,420	9,511,090
その他	235,475,102	156,627,688	78,847,414
経常費用計	19,088,071,120	18,606,896,314	481,174,806
当期経常増減額	522,029,251	467,462,903	54,566,348
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	522,029,251	467,462,903	54,566,348
法人税、住民税及び事業税	199,013,600	101,978,400	97,035,200
過年度法人税、住民税及び事業税	0	56,366,500	56,366,500
法人税等調整額	25,869,021	731,555	26,600,576
当期一般正味財産増減額	348,884,672	308,386,448	40,498,224
一般正味財産期首残高	3,152,373,450	2,843,987,002	308,386,448
一般正味財産期末残高	3,501,258,122	3,152,373,450	348,884,672

正味財産増減計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,286,000,000	1,286,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,286,000,000	1,286,000,000	0
正味財産期末残高	4,787,258,122	4,438,373,450	348,884,672

キャッシュ・フロー計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税引前当期一般正味財産増減額	522,029,251	467,462,903	54,566,348
2. キャッシュ・フローへの調整額			
減価償却費	688,611,041	866,052,156	177,441,115
賞与引当金の増減額	48,096,709	31,333,797	16,762,912
退職給付引当金の増減額	5,298,600	52,068,300	57,366,900
未収金の増減額	21,277,465	24,694,661	45,972,126
未収収益の増減額	142,513	759,158	901,671
前払費用の増減額	2,196,052	133,444,691	131,248,639
前払金の増減額	0	32,372,550	32,372,550
仕掛品の増減額	62,290,001	243,951,190	306,241,191
未払金の増減額	122,333,708	114,711,519	237,045,227
未払費用の増減額	81,941,400	0	81,941,400
未払消費税等の増減額	14,514,600	30,323,800	15,809,200
預り金の増減額	21,476,681	15,270,093	36,746,774
小 計	928,609,464	967,221,671	38,612,207
3. 法人税等の支払額	101,978,400	501,910,700	399,932,300
事業活動によるキャッシュ・フロー	1,348,660,315	932,773,874	415,886,441
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	76,646,500	19,444,500	57,202,000
投資活動収入計	76,646,500	19,444,500	57,202,000
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	167,473,773	160,989,742	6,484,031
固定資産取得支出	1,533,700	120,580,300	119,046,600
入居保証金支出	96,648,960	7,308,635	89,340,325
投資活動支出計	265,656,433	288,878,677	23,222,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	189,009,933	269,434,177	80,424,244
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
短期借入金収入	1,250,000,000	1,570,000,000	320,000,000
財務活動収入計	1,250,000,000	1,570,000,000	320,000,000
2. 財務活動支出			
短期借入金返済支出	1,500,000,000	1,782,000,000	282,000,000
ファイナンス・リース債務の支払による支出	595,093,376	765,155,791	170,062,415
財務活動支出計	2,095,093,376	2,547,155,791	452,062,415
財務活動によるキャッシュ・フロー	845,093,376	977,155,791	132,062,415
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
現金及び現金同等物の増減額	314,557,006	313,816,094	628,373,100
現金及び現金同等物の期首残高	154,771,026	468,587,120	313,816,094
現金及び現金同等物の期末残高	469,328,032	154,771,026	314,557,006

(注) 1 資金の範囲 資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

2 重要な非資金取引

当年度に新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産及び負債の額は、それぞれ569,442,759円である。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・移動平均法による原価法による。

満期保有目的の債券以外の有価証券

時価のないもの・・・移動平均法による原価法による。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

仕掛品・・・売価還元法による原価法による。

(3) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産：定額法によっている。

リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(会計方針の変更)

「公益法人会計基準に関する実務指針(その2)」の一部改正(平成20年10月7日、日本公認会計士協会)に伴い、「リース取引に関する会計基準」及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」を適用している。

なお、この変更に伴い、当期経常増減額及び税引前当期一般正味財産増減が、それぞれ1,806,543円減少している。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・職員に将来支給すべき賞与見込額(含む、社会保険料)のうち当期負担分を計上している。

退職給付引当金・・・役職員の期末要支給額の100%まで繰入している。

(5) リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引

引き続き、通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

(7) 税効果会計の適用について

税引前の当期一般正味財産増減額と法人税等の金額を合理的に期間対応させて、より適正な当期正味財産増減額を計上することを目的として税効果会計を適用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当定期預金	1,903,700	22,500	0	1,926,200
基本財産引当有価証券	1,404,096,300	0	22,500	1,404,073,800
小 計	1,406,000,000	22,500	22,500	1,406,000,000
特定資産				
退職給付引当定期預金	294,834,300	71,841,900	76,646,500	290,029,700
退職給付引当有価証券	200,000,000	0	494,000	199,506,000
入居保証金引当有価証券	432,767,466	96,125,873	0	528,893,339
減価償却引当定期預金	5,692,600	0	0	5,692,600
減価償却引当有価証券	370,462,000	0	0	370,462,000
小 計	1,303,756,366	167,967,773	77,140,500	1,394,583,639
合 計	2,709,756,366	167,990,273	77,163,000	2,800,583,639

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 相当する額)
基本財産				
基本財産引当定期預金	1,926,200	(1,401,980)	(524,220)	(0)
基本財産引当有価証券	1,404,073,800	(1,284,598,020)	(119,475,780)	(0)
小 計	1,406,000,000	(1,286,000,000)	(120,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当定期預金	290,029,700	(0)	(0)	(290,029,700)
退職給付引当有価証券	199,506,000	(0)	(0)	(199,506,000)
入居保証金引当有価証券	528,893,339	(0)	(528,893,339)	(0)
減価償却引当定期預金	5,692,600	(0)	(5,692,600)	(0)
減価償却引当有価証券	370,462,000	(0)	(370,462,000)	(0)
小 計	1,394,583,639	(0)	(905,047,939)	(489,535,700)
合 計	2,800,583,639	(1,286,000,000)	(1,025,047,939)	(489,535,700)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	1,492,643,915	845,106,809	647,537,106
什器備品	67,733,640	47,179,730	20,553,910
リース資産	2,841,180,702	1,560,066,883	1,281,113,819
合 計	4,401,558,257	2,452,353,422	1,949,204,835

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産引当有価証券			
国家公務員共済連第4回 CLO3年債	100,000,000	100,038,000	38,000
国家公務員共済連第4回 CLO4年債	100,000,000	100,320,000	320,000
SMBC ユーロ円建劣後債	200,000,000	198,520,000	1,480,000
第3回国家公務員共済連債	200,000,000	200,730,000	730,000
第54回利付国債	199,126,300	202,720,000	3,593,700
第64回利付国債	124,970,000	128,737,500	3,767,500
第5回日本学生支援債券	200,000,000	200,600,000	600,000
第71回利付国債	49,977,500	51,235,000	1,257,500
小 計	1,174,073,800	1,182,900,500	8,826,700
退職給付引当有価証券			
第71回利付国債	199,506,000	204,940,000	5,434,000
小 計	199,506,000	204,940,000	5,434,000
合 計	1,373,579,800	1,387,840,500	14,260,700

6. リース取引関係

(1) ファイナンス・リース取引

所有権移転ファイナンス・リース取引

リース資産の内容 : ソフトウェアである

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容 : ソフトウェアである

(2) オペレーティング・リース取引

(単位:円)

	1年以内	1年超	合 計
未経過リース料期末残高相当額	8,829,000	6,010,000	14,839,000

7. リース会計基準適用初年度開始前のファイナンス・リース取引関係

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位:円)

	工具器具備品	ソフトウェア	合 計
取得価額相当額	1,469,721,834	6,606,430	1,476,328,264
減価償却累計額相当額	748,071,118	1,981,929	750,053,047
期末残高相当額	721,650,716	4,624,501	726,275,217

(2) 未経過リース料期末残高相当額

(単位:円)

	1年以内	1年超	合 計
未経過リース料相当額	372,799,684	370,447,498	743,247,182

(3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

(単位:円)

支払リース料	387,781,188
減価償却費相当額	368,549,175
支払利息相当額	23,610,957

(4) 減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。

(5) 利息相当額の算定方法は、リース料総額とリース資産計上価額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっている。

9. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

退職給付債務	489,535,700
退職給付引当金	489,535,700

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位:円)

勤務費用	84,966,100
退職給付費用	84,966,100

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

10. 税効果会計関係

(1) 繰延税金資産の発生 の主な原因別の内訳

(単位:円)

賞与引当金	134,988,614
未払事業税	18,138,465
未払事業所税	10,898,600
退職給付引当金	155,186,247
減損損失	1,447,946
繰延税金資産合計	320,659,872
評価性引当額	1,447,946
繰延税金資産(純額)	319,211,926

(2) 法人税法上の非収益事業と収益事業の内訳

(単位:円)

項目	非収益事業	収益事業	合計
税引前当期一般正味財産増減額(A)	24,800,348	497,288,903	522,029,251
寄附金損金算入限度額(B)	0	0	0
小計(C) = (A) + (B)	24,800,348	497,288,903	522,029,251
法人税、住民税及び事業税(D)	0	199,013,600	199,013,600
法人税等調整額(E)	0	25,869,021	25,869,021
当期一般正味財産増減額(A) - (D) - (E)	24,800,348	324,084,324	348,884,672

(3) 法人税法上の収益事業に係る法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因になった主な項目の内訳

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率の差異は5%未満のため、記載を省略している。

財 産 目 録

平成21年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	
現金手許有高	416,391
普通預金 みずほ銀行新橋支店	339,444,486
普通預金 三井住友銀行	
東京公務法人営業部	54,467,155
定期預金 みずほ銀行新橋支店	75,000,000
未収金 3月納品分	1,370,717,520
未収収益 定期預金・債券の経過利息	3,487,998
前払費用 前払家賃等	166,434,502
仕掛品	518,482,816
貯蔵品	977,421
短期繰延税金資産	164,025,679
流動資産合計	2,693,453,968
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
基本財産引当定期預金	
みずほ銀行新橋支店	1,903,700
三井住友銀行東京公務法人営業部	22,500
基本財産引当有価証券	
国家公務員共済連第4回CLO3年債	100,000,000
国家公務員共済連第4回CLO4年債	100,000,000
SMBCユーロ円建劣後債	200,000,000
第3回国家公務員共済連債	200,000,000
第54回利付国債	199,126,300
第64回利付国債	124,970,000
第71回利付国債	49,977,500
第5回日本学生支援債券	200,000,000
譲渡性預金	
みずほ銀行新橋支店	140,000,000
三井住友銀行東京公務法人営業部	90,000,000
基本財産合計	1,406,000,000
(2) 特定資産	
退職給付引当定期預金	
みずほ銀行新橋支店	136,077,140
三井住友銀行東京公務法人営業部	153,952,560
退職給付引当有価証券	
第71回利付国債	199,506,000
入居保証金引当有価証券	
譲渡性預金	
みずほ銀行新橋支店	250,000,000
三井住友銀行東京公務法人営業部	278,893,339
減価償却引当定期預金	
みずほ銀行新橋支店	5,692,600
減価償却引当有価証券	
譲渡性預金	
みずほ銀行新橋支店	220,000,000
三井住友銀行東京公務法人営業部	150,462,000
特定資産合計	1,394,583,639

財 産 目 録

平成21年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
(3) その他固定資産			
建物附属設備	647,537,106		
建設仮勘定	11,407,500		
什器備品	20,553,910		
入居保証金	618,893,339		
消費組合加入保証金	500,000		
郵便後納保証金	1,000,000		
その他保証金	40,000		
リース資産	1,281,113,819		
長期繰延税金資産	155,186,247		
システム開発費	19,194,267		
電子計算機導入経費	1,447,085		
その他固定資産合計	2,756,873,273		
固定資産合計		5,557,456,912	
資産合計			8,250,910,880
負債の部			
1. 流動負債			
未払金 購入物品等に対する未払金	707,609,986		
未払費用	81,941,400		
未払法人税等	199,013,600		
未払消費税等	129,115,600		
預り金	153,073,233		
賞与引当金	405,614,826		
短期リース債務	503,031,537		
流動負債合計		2,179,400,182	
2. 固定負債			
退職給付引当金	489,535,700		
長期リース債務	794,716,876		
固定負債合計		1,284,252,576	
負債合計			3,463,652,758
正味財産			4,787,258,122

独立監査人の監査報告書

平成 21 年 5 月 27 日

財団法人工業所有権協力センター
理事長 岡松 壯三郎 殿

あずさ監査法人

指 定 社 員 公認会計士 小 西 彦 衛 ㊞
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公認会計士 久 保 直 生 ㊞
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、財団法人工業所有権協力センターの平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日までの平成 20 年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書及び財産目録、並びに収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、当監査法人の意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、財団法人工業所有権協力センターの平成 20 年度末日現在の財政状態並びに同年度の正味財産増減及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成 17 年 3 月 23 日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、財団法人工業所有権協力センターの平成 20 年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

財団法人工業所有権協力センターと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

平成20年度事業報告書並びに財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書及び財産目録、並びに収支計算書について、
以上のとおり相違ありません。

平成21年 5月29日

財団法人 工業所有権協力センター

理事長 岡松 壯三郎

平成20年度事業報告書並びに財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書及び財産目録、並びに収支計算書について監査した結果、いずれも適正かつ適法であることを認めます。

平成21年 6月 1日

財団法人 工業所有権協力センター

監事 松浦 幸雄

平成20年度事業報告書並びに財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書及び財産目録、並びに収支計算書について監査した結果、いずれも適正かつ適法であることを認めます。

平成21年 6月 1日

財団法人 工業所有権協力センター

監 事 倉 永 宏